



公益財団法人 日本ハンドボール協会 編
令和2年2月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻599号

ハンドボール

2

FEB.2020
No.599



- 第71回日本選手権大会(男子の部)
- 第71回日本選手権大会(女子の部)
- 第28回JOCジュニアオリンピックカップ



挑戦を続けた日々が、大舞台へと届くように。
諦めない気持ちと、熱い感動を、世界中へ届けるために。

ヤマト運輸はジャパンハンドボールオフィシャルパートナーです。



ヤマトホールディングスは、
東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーとして、
東京2020オリンピック競技大会を応援しています。



東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー
ヤマト運輸はヤマトホールディングスのグループ会社です



プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム



メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始!

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開! 待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL : 03-3525-8986 / FAX : 03-5295-8188 <http://yurika-co.jp/>





あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

Eat Well, Live Well.

Aji
AJINOMOTO.

Behind Your "Best"



車いすバスケットボール
鳥海 連志 選手

バドミントン
松友 美佐紀 選手

競泳
瀬戸 大也 選手

バドミントン
高橋 礼華 選手

ハンドボール
原 希美 選手
ハンドボール
永田 しおり 選手
ハンドボール
横嶋 彩 選手

空手
喜友名 諒 選手

5人制サッカー
加藤 健人 選手
5人制サッカー
黒田 智成 選手

パラ水泳
一ノ瀬 メイ 選手
パラ水泳
木村 敬一 選手
パラ水泳
山田 拓朗 選手

©The Asahi Shimbun via Getty Images
©Atsushi Tomura/Getty Images for Tokyo 2020
©Junya Nishigawa - PARAPHOTO/Getty Images
©Ian MacNicol/Getty Images ©JBFA ©X-1

**味の素(株)は「勝ち飯®」メニューを選手に提供することで、
東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団を応援しています。**

＼ がんばる人のチカラになるごはん！

勝ち飯®

オリンピック・パラリンピック日本代表選手団が、世界で勝つために。

味の素(株)は、独自の栄養プログラム「勝ち飯®」メニューで、
彼らのカラダづくりを支えています。



東京2020オフィシャルパートナー
(調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品)



【表紙の写真】
第71回日本選手権(女子の部・男子の部)

CONTENTS

07 理事就任のご挨拶

——(公財)日本ハンドボール協会理事・勝田祥子

第71回日本ハンドボール選手権(男子の部)

08 最終順位・勝ち上がり表

09 優勝：大崎電気——監督・岩永 生、主将・小澤広太

10 PHOTO

第71回日本ハンドボール選手権(女子の部)

11 最終順位・勝ち上がり表

12 大会を開催して——広島県協会理事長・堀口仁志

13 優勝：北國銀行——監督・荷川取義浩

14 PHOTO

15 戦評

第28回JOCジュニアオリンピックカップ

17 最終順位・個人表彰

18 大会を振り返り——大会事務局総務部長・星野真也

19 男子優勝：大阪府選抜——監督・吉本 遼、主将・竹下颯斗

20 男子勝ち上がり表

21 女子優勝：石川県選抜——監督・埴田直人、主将・紺谷利紗

22 女子勝ち上がり表

23 男子戦評

24 女子戦評

25 「IHF コーチシンポジウム 2019」開催報告——国際委員会・山田永子

26 2019年度 NTS センタートレーニング報告——NTS委員長・古橋幹夫

31 2019 女子世界選手権大会レポート——おりひめジャパン情報分析・嘉数陽介

32 「JAPAN CUP 2019 渋谷 WOMEN」ボランティアレポート——競技ボランティア・大久保和彦

33 令和元年度第22回ハンドボール研究集会報告——学校体育専門委員会委員・小岩井浩明

がんばれハンドボール 20万人会「サポート会員」12月入会・継続会員

【茨城】前川千尋【千葉】金牧 稔【東京】大熊昌巳、安藤純光【山梨】原 直人【富山】吉水慎一【静岡】永井裕之【愛知】野田 清、西 みどり【三重】細野秀男【岐阜】塚原清香、桐谷勝規【滋賀】高島典克【京都】守本幸三郎【大阪】田中幸二郎、山本伸二【広島】白石 隆【徳島】原 一字【愛媛】名越壮汰

次号 3月号 (No. 600) は 3月1日発行予定です。

理事就任のご挨拶



公益財団法人 日本ハンドボール協会 理事

勝田 祥子

日頃より、日本ハンドボール協会の事業運営にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年、7月より協会の理事に就任いたしました勝田祥子です。選手時代は多くの皆様方に支えられハンドボール活動をさせていただいたことに心より感謝申し上げます。今後は、少しでもハンドボール界に恩返しができる様、できることから精一杯チャレンジしていきたいと考えます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年末に熊本県で開催されました女子ハンドボール世界選手権大会では、連日多くのハンドボールファンの皆様方に会場まで足を運んでいただきました。世界トップの迫力と多彩なプレーの数々に驚きと感動を感じられた方が沢山いらっしゃいました。この日本開催の世界大会の盛り上がりを一過性のものにしてはなりません。

そのためには、日本代表チームの強化は勿論の事ですが、全国各地で誰もがいつでもハンドボールを身近に感じられる様な競技自体の振興が必要だと感じております。来たる東京オリンピックに向け、全国各地でハンドボールが熱気で盛り上がり、更なる競技の発展に繋がる様、皆様方のお力を賜りながら精一杯努力して参ります。改めて宜しくお願い申し上げます。

第71回 日本ハンドボール 選手権大会 男子の部

期 間：2019年11月19日(火)～24日(日)
会 場：墨田区総合体育館
港区スポーツセンター
国立代々木競技場（代々木第一体育館）

最終順位

- 優 勝：大崎電気 (JHL)
- 準優勝：トヨタ車体 (JHL)
- 3 位：大同特殊鋼 (JHL)
豊田合成 (JHL)

最優秀選手

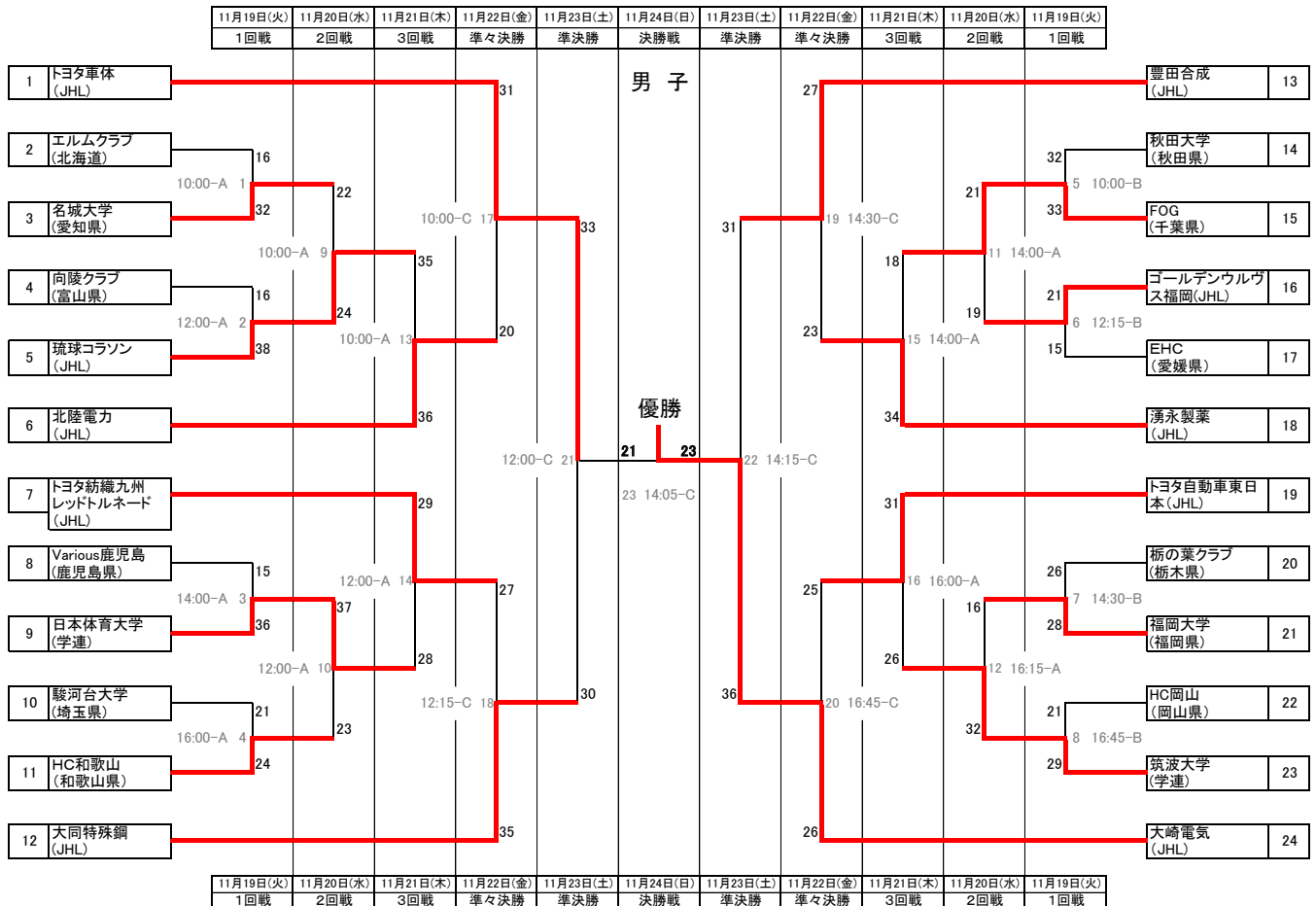
木村 昌文 (大崎電気)

最優秀監督

岩永 生 (大崎電気)

写真提供：スポーツイベント社

東京都：墨田区総合体育館(A)、港区スポーツセンター(B)、代々木第一体育館(C)





優勝 大崎電気

大崎電気ハンドボール部監督 岩永 生

11月19日～11月24日まで開催された第71回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）において私たち大崎電気は2年ぶり15回目の優勝を果たす事が出来ました。これも日頃から大崎電気ハンドボール部を支えてくださっている会社の皆様のおかげだと思っています。この場を借りて感謝申し上げます。

また、大会を開催するにあたりご尽力頂きました大会関係者、ハンドボール関係者の皆様にも深く御礼申し上げます。

今大会は5月の全日本社会人選手権大会、10月の国民体育大会に続いて今年度の3冠目がかかった大事な大会でした。

私自身、プレッシャーもあり初戦、準決勝、決勝の3試合とも厳しい戦いとなりましたが選手1人1人が自分の役割を理解して、コート上で表現してくれたことが今回の勝因に繋がったと思います。

今大会、優勝できた事で3冠を達成することができ、大崎電気の悲願でもあるシーズン4冠に王手をかけることができました。簡単にはいかないと思いますが、悲願達成に向けて残りのシーズンもチーム一丸となって戦っていきます。

たくさんのご声援をありがとうございました。

大崎電気ハンドボール部主将 小澤 広太

この度、大崎電気として、2年ぶり15回目の優勝をすることができた、第71回日本ハンドボール選手権大会。

第1戦の準々決勝は今シーズン、リーグ戦で負けているトヨタ自動車東日本との対戦。大崎はトーナメントの初戦ということもあり、特に立ち上がりの闘い方を意識しました。序盤は狙い通り、大崎のリズムで試合を進めていくことができ、中盤以降、相手に対応され追い上げられる展開になりながら、僅差で勝利しました。しかし、準決勝に向けて課題の残る試合となりました。

準決勝は豊田合成との対戦。昨年、この同じ舞台で敗戦しているため、私自身まずは雪辱を晴らすため、最善の準備をしました。ミーティングで確認した戦術もうまくかみ合い、前半は大崎のペースで試合が進みましたが前日と同様に、相手のペースになる時間も多く簡単には勝利することができないことを再認識することができました。

決勝戦の相手はトヨタ車体。決勝も最後の最後まで接戦となりましたが、監督をはじめ、チーム総力戦で闘った結果、優勝の栄冠を勝ち取ることができました。

会場でたくさんのお声援をしてくれた方、テレビの前で応援してくれた方、普段から支援していただいている会社へ感謝の気持ちを伝えたいです。大崎電気として、初の四冠を達成するため自分がチームの先頭に立ってこれから続くリーグ戦も、気を引き締めて挑んでいきます。

ご声援、ありがとうございました。



第71回 日本ハンドボール 選手権大会 女子の部

期 間：2019年12月24日～2019年12月28日
 開催地：広島県・広島市
 会 場：マエダハウジング東区スポーツセンター
 中区スポーツセンター

最終順位

- 優 勝：北國銀行 (JHL)
 準優勝：大阪体育大学 (学連)
 3 位：ソニーセミコンダクタ
 マニュファクチャリング (JHL)
 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 (JHL)

広島市：マエダハウジング東区スポーツセンター(A)、中区スポーツセンター(B)

	12月24日(火)	12月25日(水)	12月26日(木)	12月27日(金)	12月28日(土)	12月27日(金)	12月26日(木)	12月25日(水)	12月24日(火)	
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝戦	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	
1 北國銀行 (JHL・石川県)		35			優 勝			17		イズミメイブルレッズ (JHL・広島県) 11
2 筑波大学 (学連・茨城県)		33	47				17	17		香川銀行T・H (香川県) 12
3 岩手県立不來方高等学校(岩手県)		22		27			20	15		ザ・テラスホテルズ(沖縄県) 13
4 環太平洋大学 (岡山県)		25	31				16	16		徳島市立高等学校 (徳島県) 14
5 大阪ラヴィッツ (JHL・大阪府)		36		29		27	22	28		飛騨高山ブラックブルズ岐阜 (JHL・岐阜県) 15
6 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (JHL・鹿児島県)		32		29		27	17	17		HC名古屋 (JHL・愛知県) 16
7 中京大学 (愛知県)		20	27				25	31		大阪体育大学 (学連・大阪府) 17
8 北海道倶楽部 (北海道)		11	19			33	18	18		フレステージ・インターナショナルフロンマーレ (JHL・高山県) 18
9 武庫川女子大学 (兵庫県)		34	20				15	27		東京女子体育大学(東京都) 19
10 三重バイオレットアイリス (JHL・三重県)		32					26	26		オムロン (JHL・熊本県) 20

第71回日本ハンドボール選手権大会（女子の部）を開催して

広島県ハンドボール協会理事長 堀口 仁志

東京オリンピック・パラリンピックを翌年に控えた2019年12月24日から28日の間、広島市において日本リーグ所属9チーム、日本協会推薦（学連）2チーム、各都道府県代表9チーム（各ブロック代表1チーム）の計20チームが参加し、日本ハンドボール界の頂点を競う第71回日本選手権大会（女子の部）を開催することができました。2019年11月の男子の部に続き日本協会が主催する最も権威ある大会を本県で開催できましたことに心から感謝しております。

日本協会の方々には、2019年11月24日までの女子JAPAN CUPと男子日本選手権の東京での同時開催、11月30日～12月15日熊本での女子世界選手権に引き続き、休む間もなくこの大会の開催にご尽力いただきまして深くお礼申し上げます。また、この大会は火曜日から土曜日の開催でなかなか人が集まらない中、連日仕事の合間を見つけ、また仕事を休んでお手伝いいただきましたスタッフの皆様や授業のない日にこそって参加してくれました学生の補助員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今大会には日本協会推薦の学連2校をはじめとして、各ブロックから4校の大学生チームが予選を勝ち上がってきました。1回戦4試合のうち、大学チームは3校が出場しました。いずれも勝ち上がり大学チームの元気の良さをアピールしました。

2回戦は日本リーグ勢をはじめ全チームが出場となり、マエダハウジング東区スポーツセンター、中区スポーツセンターで4試合ずつ行われました。昨年度日本リーグレギュラーシーズン2位で地元期待のイズミメイプルレッズが香川銀行に、同7位のHC名古屋が大阪体育大学に敗れましたが、他の日本リーグ勢6チームは順当に勝ち上がり、ベスト8に名を連ねました。

準々決勝からはマエダハウジング東区スポーツセンターだけでの試合となりました。この日の見どころは昨年度日本リーグ同3位のオムロンと学生チャンピオンの大阪体育大学との戦いでした。大阪体育大学が前半、7点もの差をつけましたが、オムロンに追い上げられ後半23分に22対22の同点にされました。しかし、大阪体育大学はここから粘りを発揮し、接戦の末オムロンに競り勝ちました。そして、そのままの勢いで準決勝も飛騨高山ブラックブルズ岐阜を退け決勝に進出しました。同じく準決勝で、昨年度日本選手権を制したソニーセミコンダクタマニュファクチャリングを下した日本リーグ5連覇中の北国銀行が決勝の相手として名乗りを上げました。

日本リーグチャンピオン北国銀行対学生チャンピオン大阪体育大学の決勝戦は、前半互いに譲らず、残り7分から北国銀行が抜け出し、15対11の4点リードで折り返しました。後半は北国銀行が着実に得点し、15分には6点差をつけました。ここから大阪体育大学の反撃が始まり、20分には2点差まで追い上げました。残り10分に番狂わせの予感で会場は大いに盛り上がりましたが、北国銀行は落ち着いた攻守でこの点差を守り切り、結局29対27で大阪体育大学を破って、4年ぶりの栄冠を手に入れました。最優秀選手には北国銀行の永田美香選手が選ばれ、大阪体育大学では中山佳穂選手の活躍が際立ちました。

日本代表選手の皆さんは2019年11月21日～24日のJAPAN CUP、11月30日～12月15日の世界選手権に続いての連続した大会でしたが元気いっぱいの活躍で大会を盛り上げてくださいました。特筆すべきは大阪体育大学の強さでした。日本リーグ上位チームを相手に対等以上に戦い、優勝した北国銀行を2点差まで追い詰めた活躍は、やがてその卒業生が日本リーグに参加することで今後の女子ハンドボール界のさらなるレベルアップへの明るい兆しと感じております。

大会開催に当たり準備段階からご支援していただきました関係者の方々に大変感謝しております。また、大会期間中の運営において親身にご協力いただきました日本協会の方々に重ねてお礼申し上げます。

多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。
私たちはこれからも、素材の力で新たな価値創造に貢献していきます。

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special



外からは見えませんが、骨のある会社です。

 大同特殊鋼



優勝北國銀行

北國銀行監督 荷川取 義浩

はじめに第71回日本選手権大会の開催にあたり、諸準備や大会運営等にご尽力いただきました日本ハンドボール協会並びに広島県ハンドボール協会等、多くの関係者の皆様方へ心より感謝申し上げます。

昨年は12月に熊本世界選手権が開催されるため日本代表で活動するメンバー、チームで活動するメンバーに分かれることが多く、日本選手権に向けて全員が揃っての練習は世界選手権後の約1週間ということで、多くの不安を抱えたまま大会入りしました。

2回戦は筑波大学、準々決勝は大阪ラヴィッツとの対戦でしたが、失点数が多いものの、チーム全員でペースを落とさず得点を重ねる展開で、勝利することができました。

準決勝は、昨年大会決勝で敗戦しているソニーセミコンダクタマニュファクチャリングとの対戦になりました。序盤は、相手に簡単に得点を許す場面もあり、なかなかリードを広げることができませんでしたが、徐々にDFから速攻の局面も増え、また、コートに立った選手が積極的にゴールを狙う姿勢を見せて27対19で勝利し、決勝へ進むことができました。

決勝は、日本リーグ3チームに勝利し勝ち上がってきた大阪体育大学との対戦となりました。粘り強く守りながら、早く自分たちのペースに持っていけるようにと試合に入りましたが、学生の勢いやスピードある積極的なプレーになかなか点差を広げることができませんでした。そんな中でも終始リードしながら試合を展開することができたため、最後は個々の力強いプレーで相手を押し切り29対27で勝利し、4年ぶり4回目の優勝をすることができました。

今回の優勝は私たちだけで成し遂げられたわけではなく、いつもご支援・ご声援をいただいている石川県ハンドボール協会、多くのサポーターの皆様方、ご父兄の皆様方、また、安宅頭取をはじめ役員・行員の皆様方の強力なバックアップがあったからこそこの優勝です。改めまして、心より御礼申し上げます。また、ご多忙にもかかわらず会場まで足を運んで熱いご声援をいただいた皆様方にも重ねて御礼申し上げます。

今回の優勝に満足することなく、自分たちの課題と向き合い、もっと内容にこだわる戦いをして日本リーグでも優勝を勝ち取れるように頑張っていきます。そして、応援して下さる方々に恩返しができるようにさらに精進を重ねてまいりますので、変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。

第71回日本ハンドボール選手権大会 女子の部

6点とも写真提供：スポーツイベント社



準決勝 北國銀行 27(13-10、14-9)19 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング

ソニーのスローオフで試合開始。開始早々、ソニーが7mTを獲得し確実にキムが決め先制。ソニー GK 飛田の好セーブ、北國塩田・永田を中心とした堅い守りで一進一退の攻防が続く。ソニーの退場の間に北國はチャンスを活かし、前半15分で7対4の北國リード。ソニーは、積極的に攻撃を仕掛けるも、北國 GK 馬場にシュートを阻まれペースを握れず。一方北國は、佐々木・大山の得点で着実に加点し、リードをひろげる。前半25分から、ソニー服部・角南・藤田・キムで追隨するもの追いつけず、13対10で北國3点リードで前半終了。

後半立ち上がり、北國佐々木・大山・永田で加点し引き離しに掛かるが、ソニー飛田の好セーブからキム・服部・角南で加点し流れを渡さず。その後、両チーム譲らず前半15分で20対16の北國4点リード。攻撃のリズムが悪くなった北國、河田を投入し流れを掴みリードをひろげる。ソニーも必死に食い下がるも、リードは縮まらず27対19で北國が勝利した。北國銀行が明日の決勝戦に駒を進めた。

準決勝 大阪体育大学 33(18-13、15-13)26 飛騨高山ブラックブルズ岐阜

ブラックブルズのスローオフで試合開始立ち上がりブルズ佐伯のシュートで先制し、中島のステップシュートで連取する。その後、大体大相澤の連取ですぐさま同点に追いつく。そのまま、大体大相澤を中心に攻撃を仕掛け、リズムに乗るかに見えたがブルズも粘りのディフェンス、佐藤、中島、平野、キムで加点し、前半15分で9対7大体大のリード。その後、大体大が堅いディフェンスから速攻につなげ着実に加点し前半18対13で大体大5点リードで前半終了。

後半立ち上がり大体大は流れを掴み引き離しにかかりたいが、リズムに乗れず。一方ブルズもディフェンスからの速攻で追い上げを試みるも、点差は縮まらず。後半15分で25対18大体大のリード。その後、一進一退の攻防が続く。結果前半のリードを保ったまま大体大が7点リードの33対26で大体大が勝利した。

決勝 北國銀行 29(15-11、14-16)27 大阪体育大学

北國銀行のスローオフで試合開始。両者ともに堅い守りとGKの好セーブにより、なかなか得点を許さない。2分30秒、北國銀行・永田の先制ゴールで試合が動き出す。その後も一進一退の攻防が続き、開始15分、7対6と北國銀行が1点リードする展開となる。19分41秒、8対8と同点で大阪体育大学がタイムアウト請求。スピードあるパス回しから多彩な攻撃をみせるも北國銀行・馬場の好セーブにより得点できない。対する北國銀行は永田の2連続得点や佐々木の前半6得点により、じわじわとリードを広げていき、15対11と北國銀行4点リードで前半終了。

後半立ち上がり、追いつきたい大阪体育大学は果敢に速攻を仕掛けていく。対する北國銀行も着実に得点を重ね、点差は縮まらない。12分51秒、北國銀行・河田の7mTが決まり22対17の5点差となったところで大阪体育大学はタイムアウトを請求し修正をはかる。そこから大阪体育大学は中山のミドルシュートや北國銀行のミスを見逃さず、速攻を決め、点差を縮めていく。19分46秒、26対24と2点差となったところで北國銀行はたまたまタイムアウトを請求。一進一退の攻防が続き、両者一步も譲らない展開のまま試合は進み、29対27の2点差で北國銀行が勝利した。北國銀行が4大会ぶりの栄冠を手にした。



好評発売中

ハンドボールスキルアップシリーズ 目からウロコの ポジション別上達術

スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著
B5判 188ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

バックコート、サイド、ポストの3ポジションについて、それぞれの役割、求められる能力などをわかりやすく解説しているコートプレイヤー必読の一冊です。

既刊



目からウロコのDF戦術
1,800円+税

株式会社スポーツイベント TEL:03-3253-5941 ご注文はオンラインショップから→<http://sportsevent.shop-pro.jp/>



FIND YOUR WINNING COLOR

ジブンの勝ち色を見つけよう



NEW

アシックス イージーオーダーシステム

約**330億**通り

こだわりの
一足を作ろう!

HANDBALL SHOES
EASY ORDER SYSTEM





第28回JOCジュニアオリンピックカップ

開催期間：2019年12月22日～12月26日

開催地：埼玉県・さいたま市

会場：サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）、さいたま市大宮体育館、岩槻文化公園内 楓の森体育館

最終順位

【男子】

優勝：大阪府選抜（24年ぶり2回目）

準優勝：福井県選抜

3位：愛知県選抜

香川県選抜

【女子】

優勝：石川県選抜（初優勝）

準優勝：埼玉県選抜

3位：千葉県選抜

愛知県選抜

個人表彰

【男子】

藤川 淳（香川・龍雲）

竹下 颯斗（大阪・大体大浪商）

鎌倉 悠真（岩手・花巻）

三枝 真都（千葉・若松）

青木 詩絵文（神奈川・中川西）

林田 崇希（三重・朝明）

小野田 匡陽（愛知・扇台）

長谷川 惣唯（福井・明倫）

武田 琉星（香川・香川一）

【女子】

紺谷 利紗（石川・芦城）

奥村 由紗（石川・芦城）

南條 沙莉（福島・石川）

小山 歩夢（埼玉・神根）

島戸 那渚（愛知・扇台）

山口 杜子（愛知・滝ノ水）

横尾 藍乃（佐賀・神埼）

桑山 日和（宮崎・大宮）

名嘉 陽菜（沖縄・美東）



大会を振り返り

大会事務局 総務部長 星野 真也

埼玉県にて、令和初となる第28回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会が、12月22日(日)～26日(木)の5日間、さいたま市のサイデン化学アリーナをメインに大宮体育館と岩槻文化公園内槻の森体育館、3会場で開催されました。昨年度に続き2回目の開催となり、全国1350チームの中学生ハンドボーラーの中から選抜された男女758名が埼玉県に集いました。本大会は、日本代表選手として活躍する可能性のあるジュニア選手の発掘と育成を行うことが第一の目的であります。

過去のJOC大会を通して、本県から多くの日本代表選手や実業団選手を選出することができました。中でも豊田選手(春日部中野中→浦和学院高、現国士舘大学監督)は、多くの世界大会に出場し歴代の代表者と肩を並べるほどの戦績をあげました。現在(2019,12)彗星ジャパンには、**門山選手**(吉川南中→市立浦和高、現トヨタ車体)、**土井選手**(浦和学院高、現大崎電気)、**吉野選手**(三郷HC→三郷北中、現トヨタ車体)、**玉川選手**(田島中→浦和学院高、現大崎電気)が、おりひめジャパンには**川村選手**(吉川南中→浦和実業高、現ソニー)が選出されており、あと数か月と迫った東京オリンピックでの活躍が期待されます。また、実業団では**小澤選手**(豊春中→浦和学院高、現大崎電気)、**加藤選手**(吉川中央中→浦和学院高、現トヨタ車体)、**大島選手**(土合中→浦和学院高、現北陸電力)、**松島選手**(戸田中→川口東高、現北陸電力)、女子では**石井選手**(三郷HC→三郷北中→埼玉栄高、現オムロン)、**綿引選手**(十二月田中→埼玉栄高、現HC名古屋)、**安齋選手**(大増中→浦和実業高、現HC名古屋)、**團選手**(三郷HC→三郷北中→埼玉栄高、現三重バイオレット)、**齋藤選手**(戸塚中→川口東高、現大阪ラヴィッツ)、**渋谷選手**(埼玉栄高、現ソニー)が活躍しており、本大会が埼玉県や全国各地の中学生ハンドボーラーにとって、夢や希望を与える重要な大会だということを改めて考えさせられました。また、本大会を経験した方が県内競技役員として参加されていることもありJOC大会の大きな歴史を感じることができました。

さて、本大会は大阪府選抜男子が第8回大会以来、石川県選抜女子が初の優勝で幕を閉じました。決勝トーナメントでは、どの試合も総力戦で、選手の皆さんの最高のパフォーマンスが発揮されていました。本県は、県選抜女子が決勝まで勝ち進みました。石川県選抜に惜しくも敗れましたが、準優勝という結果を残すことができました。

本県ではJOCと埼玉全中に向けた県内の強化5か年計画を打ち出しており、普及と強化対策を最重要課題として取り組んでおります。本年度、埼玉県の競技力は全国と比べ低下しており、特に女子は関東大会ベスト8が最高順位で選抜を組んでも全国大会への道は険しいと考えておりました。そのような中、本大会に向けて細津強化部長が中心となり、選抜スタッフが一丸となって他県との交流を増やしチーム強化を図りました。その経緯として、昨年度は開催地女子選抜として監督を務めた田中和久先生(戸塚西中)が一貫指導として下級生を中心とした女子の基盤を作り、本年度は、育成選手を中心とした県選抜の監督としてご尽力いただきました。その成果が実を結び、県選抜がJOC関東大会で優勝し、本大会では地元を盛り上げるべく決勝まで進出することができました。惜しくも石川県選抜に敗れましたが、埼玉県は2年連続(昨年度は男子3位)で入賞することができました。それは、間違いなく観客や県内の中学生に夢と感動を与えるものとなりました。これ以上に喜ばしいことはなく胸に熱いものがこみ上げてきたことを覚え、時間を費やして選手の心と体を育成して頂いた選抜スタッフに心より感謝しております。

最後になりましたが、埼玉県で開催するにあたり、多大なるお力添えをいただきました三輪常務理事をはじめとする日本協会の方々、各ブロック長や審判員の皆様、清水会長、や上久保副会長、中野副会長、野平理事長などの本県協会の方々に、改めて厚く御礼を申し上げます。また、日本協会湧永会長や吉田副会長には開閉会式等にご列席して頂き誠に感謝しております。地元役員や県内の中学生にとりましても、全国のハンドボールを間近で体感することができました。今後は、運営面でも日本一を目指していきたいと考えております。最終年度は、今以上に選手の皆さんが力を発揮し、埼玉に来てよかったと思える大会となるよう改善することを誓い、大会報告と致します。皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

あなたの元気を未来につなぐ

Wakunaga

**元気、やる気、
笑顔、湧く。**



キョーレオピン
KYOLEOPIN
LIQUID

《販売名》
キョーレオピンw

**滋養強壯
虚弱体質**

第3類医薬品



レオピン
ファイブ

《販売名》
レオピンファイブw





湧永製薬株式会社

<http://www.wakunaga.co.jp/>

お取扱店のお問い合わせ **0120-39-0971**

(通話料無料) 受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00 (土日祝日を除く)



男子優勝

大阪府選抜

大阪府選抜男子監督 吉本 遼

まず初めに、第28回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会を開催するにあたり、多大なるご支援、ご協力を戴きました日本ハンドボール協会をはじめ、埼玉県ハンドボール協会、埼玉県教育委員会、埼玉県中学校体育連盟、さいたま市ハンドボール連盟、さいたま市教育委員会、並びに関係各位の皆様へ改めて、心より厚く御礼申し上げます。

この度、2回目の開催となる埼玉大会において男子大阪府選抜は24年振り2回目の優勝を果たすことができました。これも偏に日頃から大阪府選抜を支えてくださっている大阪府ハンドボール協会の皆様や、大阪府の指導者の先生方、保護者の皆様など多くの方々のご尽力があってこそその結果だと感じております。そして何より、大会に向けて精一杯の努力を積み重ねてきた選手たちの力の集大成であります。

今大会の試合を振り返ってみると、どの試合も苦しく、自分たちのハンドボールができるかどうか問われる試合ばかりでした。予選リーグは、サイドやポストを絡め、理にかなったプレーが持ち味の東京都やスピードとバリエーション豊かなオフェンスで攻め続ける石川県。決勝トーナメント1回戦では、力強いプレーでどこのポジションからでも得点できる福岡県。準決勝では、今大会随一のDF力と高確率なプレーで判断力の高さが窺える愛知県。そして決勝では、変幻自在なDFシステムによる速攻とテクニカルなプレーが光る福井県。すべての試合において、油断・慢心はなく、選手スタッフ共々ただただ必死に一所懸命戦い抜きました。

12月26日(木)の大会最終日までの道のりを振り返ってみると、私の頭に思い浮かんだことは「感謝」の気持ちであります。指導者としてまだまだ未熟な私がこのような輝かしい結果に携わることができたのは、私の指導に最後までついてきてくれた16名の選手たちや4ヵ月余りの期間中、ずっとサポートして下さった湯川先生・松浪先生・近藤先生らチームスタッフの皆様、選手の日常生活を支えて下さっている保護者の皆様、そして大阪府内の小・中・高・大の関係者の皆様方によるご支援ご協力のおかげでございます。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後になりますが、執筆する貴重な機会を与えてくださいました日本ハンドボール協会機関誌専門委員会の方々に御礼申し上げます。

大阪府選抜男子主将 竹下 颯斗

はじめに、第28回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会におきまして、多大なるご支援、ご協力を戴きました埼玉県ハンドボール協会の皆様を始め、大会の開催にご尽力頂きました関係者の方々に心より感謝申し上げます。

僕たち選手16名の目標は「全国日本一」になる事でした。8月の選考会から約4ヶ月。決して多い練習時間ではありませんでしたが、近畿予選を通して課題が多く見付き、限られた練習時間を工夫して本大会まで頑張ってきました。

男子大阪府選抜は過去何年も予選リーグを突破することができていませんでしたが、とにかく「自分たちのハンドボールをしよう!」とチーム内で声を掛け合い全国大会に挑みました。予選リーグの東京都戦と石川県戦では、「守って速攻」「ノーマークシュートを決めきる」という自分たちのハンドボールを表現し、予選リーグを突破することができました。決勝トーナメントでは福岡県、愛知県、福井県と苦しい試合が続きましたが、劣勢になっても焦らずチーム内で、たくさんの声を掛け合い、「全国日本一」を諦めずに戦い、勝利することができました。最高の仲間です。

最後に、JOCハンドボール大会で男子大阪府選抜が24年ぶりに優勝することができたのは16名のメンバー、指導者のみなさん、周りでサポートして下さった方々のおかげだと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。

<男子結果・勝ち上がり>

12月23日(月)・24日(火)										12月25日(水)		12月26日(木)		
Aリーグ		愛知県選抜	山口県選抜	秋田県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
愛知県選抜			33 [13 - 9 / 20 - 5] 14	37 [20 - 6 / 17 - 3] 9	2	0	0	4	47	1	愛知県	25		
山口県選抜	14 [9 - 13 / 5 - 20] 33			23 [15 - 13 / 8 - 10] 23	0	1	1	1	-19	2	愛知県	9-11	23	
秋田県選抜	9 [6 - 20 / 3 - 17] 37	23 [13 - 15 / 10 - 8] 23			0	1	1	1	-28	3	愛知県	16-9	20	
Bリーグ		神奈川県選抜	北海道選抜	沖縄県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
神奈川県選抜			22 [12 - 14 / 10 - 15] 29	19 [11 - 11 / 8 - 11] 22	0	0	2	0		3	沖縄県	20		
北海道選抜	29 [14 - 12 / 15 - 10] 22			29 [11 - 19 / 18 - 14] 33	1	0	1	2		2	沖縄県	11-11	26	
沖縄県選抜	22 [11 - 11 / 11 - 8] 19	33 [19 - 11 / 14 - 18] 29			2	0	0	4		1	大阪府	12-15	26	
Cリーグ		福岡県選抜	岩手県選抜	さいたま選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
福岡県選抜			26 [14 - 6 / 12 - 13] 19	26 [14 - 7 / 12 - 8] 15	2	0	0	4		1	福岡県	19		
岩手県選抜	19 [6 - 14 / 13 - 12] 26			25 [13 - 9 / 12 - 11] 20	1	0	1	2		2	大阪府	9-12	26	
さいたま選抜	15 [7 - 14 / 8 - 12] 26	20 [9 - 13 / 11 - 12] 25			0	0	2	0		3	大阪府	10-15	27	
Dリーグ		大阪府選抜	石川県選抜	東京都選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
大阪府選抜			27 [16 - 5 / 11 - 10] 15	34 [18 - 9 / 16 - 10] 19	2	0	0	4		1	大阪府	27		
石川県選抜	15 [5 - 16 / 10 - 11] 27			36 [21 - 12 / 15 - 20] 32	1	0	0	2		2	大阪府	9-12	26	
東京都選抜	19 [9 - 18 / 10 - 16] 34	32 [12 - 21 / 20 - 15] 36			0	0	2	0		3	大阪府	10-15	27	
Eリーグ		福井県選抜	熊本県選抜	兵庫県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
福井県選抜			31 [16 - 12 / 15 - 11] 23	28 [16 - 8 / 12 - 10] 18	2	0	0	4		1	福井県	32		
熊本県選抜	23 [12 - 16 / 11 - 15] 31			25 [10 - 11 / 15 - 4] 15	1	0	1	2		2	福井県	16-8	28	
兵庫県選抜	18 [8 - 16 / 10 - 12] 28	15 [11 - 10 / 4 - 15] 25			0	0	2	0		3	福井県	16-15	23	
Fリーグ		岡山県選抜	三重県選抜	埼玉県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
岡山県選抜			28 [12 - 14 / 16 - 14] 28	25 [12 - 12 / 13 - 12] 24	1	1	0	3		1	岡山県	23		
三重県選抜	28 [14 - 12 / 14 - 16] 28			26 [11 - 17 / 15 - 21] 38	0	1	1	1		3	岡山県	14-14	18	
埼玉県選抜	24 [12 - 12 / 12 - 13] 25	38 [17 - 11 / 21 - 15] 26			1	0	1	2		2	福井県	14-9	23	
Gリーグ		宮城県選抜	京都府選抜	宮崎県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
宮城県選抜			17 [9 - 10 / 8 - 13] 23	33 [19 - 9 / 14 - 10] 19	1	0	1	2		2	京都府	23		
京都府選抜	23 [10 - 9 / 13 - 8] 17			28 [17 - 10 / 11 - 12] 22	2	0	0	4		1	香川県	11-13	23	
宮崎県選抜	19 [9 - 19 / 10 - 14] 33	22 [10 - 17 / 12 - 11] 28			0	0	2	0		3	香川県	12-14	27	
Hリーグ		香川県選抜	千葉県選抜	大分県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位				
香川県選抜			21 [13 - 8 / 8 - 13] 21	24 [9 - 8 / 15 - 3] 11	1	1	0	3	13	1	香川県	27		
千葉県選抜	21 [8 - 13 / 13 - 8] 21			22 [14 - 7 / 8 - 11] 18	1	1	0	3	4	2	香川県	11-13	23	
大分県選抜	11 [8 - 9 / 3 - 15] 24	18 [7 - 14 / 11 - 8] 22			0	0	2	0	-17	3	香川県	12-14	27	

大阪府選抜 (23年ぶり2回目)

OSAKI



mind

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。

限られた資源だから、有意義に使ってきたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守ってきたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)





女子優勝

石川県選抜

石川県選抜女子監督 埴田 直人

この度の第28回JOCジュニアオリンピックカップにおいて石川選抜として初優勝という成績を収められたことを大変嬉しく思うと同時に、今大会開催にあたりご尽力いただいた関係機関、関係各位の皆様へ厚く御礼申し上げます。

春夏と芦城中学校として全国制覇をすることができ、生徒は、石川県勢として全国三冠を目指すことを目標に掲げました。そのプレッシャーの中で気持ちを維持していくことは大変だったと思いますが、夏以降来県し合同練習して下さるチームが増え、生徒はそれを楽しみながら充実した時間を過ごすことができました。来県して下さった指導者、選手の皆様には大変感謝しております。

芦城中の生徒達や自分自身は、元石川県小松市立高校女子ハンドボール部顧問で現 NTS 委員長古橋幹夫先生に週一回のジュニアスポーツ教室で指導を受けています。生徒への指導は明快で、個の育成に力点が置かれています。力量不足で自分にはまだ理解できていない部分はたくさんありますが、生徒達は入部当時から歩幅を伸ばすことを徹底し、パス・フェイント・シュート等の技術練習の反復を行ってきました。芦城中のOFのきっかけは多数ありますが、最後は1対1、2対2で崩すという共通理解で練習の大半を部分の攻防練習に割いてきました。DF練習も個の1対1を反復して「2年続ければプレスDFは仕上がる」と古橋先生のアドバイスを受けて、個のDF力を付けながら芦城のスタイルを確立してきました。選抜練習に入っても寺井中や南部中の生徒にも同様の練習に取り組みせ、ポジションで求めることを明確にしました。

本大会では、初戦大阪選抜の強い当たり苦戦しましたが、スピーディーな展開に持ち込むことによって勝ち切ることができました。その後の宮崎、山口、千葉、埼玉との試合では、試合前に相手選手の特徴・得意なプレーを確認して、失点を最小限にする対策を生徒に求めました。OFは、展開の中で自分で行く場面、周囲が崩していく場面の判断に気を付けることを求め、自信をもって戦うよう話し、生徒はどの試合も自分達で立てたゲームプランを見事にこなして栄冠を手に入れました。主将紺谷のリーダー性、センター奥村の構成力、キーパー北林の責任感、個々の生徒の成長を挙げればきりがありませんが、石川県ハンドボール協会をはじめとする多くの方々へ支えて頂いたからこそ、生徒は成長できたのでありこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

石川県選抜女子主将 紺谷 利紗

「優勝」それが、私達が選抜練習初日に掲げた目標でした。石川選抜は、春夏連覇を果たした芦城と夏準優勝の寺井を中心に編成されたチームなので、絶対に勝たなければいけないというプレッシャーもありました。

私達が全員集まることができるのは、基本週2回。週3回できる時もありましたが、練習時間は限られていました。少ない練習回数の中でも11月に入ると、水曜日夜のジュニアスポーツ教室に地元の社会人チームの小松クラブの皆さんが練習相手をしてくださり、一つずつチームの課題を修正することができました。

本大会一週間前には、北信越総合カップという高校生から社会人まで出場できる大会に唯一中学生として参加させていただき、厳しい試合が多くありましたが、粘りに粘って優勝することができました。この大会でチームの繋がりが深まり、良い雰囲気で大大会に臨むことができました。

そして、全国大会本番。初戦が大切だと思っていた私は、その気持ちをみんなに伝え、気を引き締めて試合に挑みました。途中連続失点で自分達の流れでプレーすることができない時間帯もありましたが、

声を掛け合い、自分達のリズムを取り戻し、初戦を突破することができました。

その後、予選リーグ、決勝トーナメントと勝ち進むことができ、そして、決勝。相手は地元の埼玉県でした。決勝の雰囲気、地元の圧倒的な応援に呑まれることもなく、自分達のハンドで前半を終えることができました。後半も16人全員が出場することができ、ラスト10分は埴田先生が芦城のレギュラーだった7人をコートに立たせてくださり、すごく良い思いで優勝できました。

この16人でハンドボールをできたことが本当に嬉しく思う反面、もうできないという寂しさもあります。しかし、この全国大会での経験をこれからのそれぞれの道に活かしていきたいと思います。最後に、全国大会での三冠の夢を果たすことができたのは、県・市ハンドボール協会の皆様、小松クラブや高校生の皆さん、中学校の先生方、埴田先生、立花先生、コーチの山本さん、保護者の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

女子結果・勝ち上がり									
12月23日(月)・24日(火)									
aリーグ									
石川県選抜	大阪府選抜	宮崎県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
石川県選抜	24 [14-8 / 10-10] 18	39 [23-7 / 16-15] 22	2	0	0	4		1	
大阪府選抜	18 [8-14 / 10-10] 24	18 [6-12 / 12-13] 25	0	0	2	0		3	
宮崎県選抜	22 [7-23 / 15-16] 39	25 [12-6 / 13-12] 18	1	0	1	2		2	
bリーグ									
山口県選抜	三重県選抜	東京都選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
山口県選抜	21 [9-9 / 12-8] 17	20 [9-7 / 11-10] 17	2	0	0	4		1	
三重県選抜	17 [9-9 / 8-12] 21	21 [13-10 / 8-15] 25	0	0	2	0		3	
東京都選抜	17 [7-9 / 10-11] 20	25 [10-13 / 15-8] 21	1	0	1	2		2	
cリーグ									
沖縄県選抜	千葉県選抜	兵庫県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
沖縄県選抜	16 [9-12 / 7-10] 22	24 [11-9 / 13-7] 16	1	0	1	2	2	2	
千葉県選抜	22 [12-9 / 10-7] 16	19 [8-12 / 11-11] 23	1	0	1	2	2	1	
兵庫県選抜	16 [9-11 / 7-13] 24	23 [12-8 / 11-11] 19	1	0	1	2	-4	3	
cリーグ・沖縄と千葉は、総得点数が多い千葉がリーグ1位となります。									
dリーグ									
香川県選抜	福島県選抜	さいたま選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
香川県選抜	17 [11-7 / 6-11] 18	21 [12-4 / 9-7] 11	1	0	1	2		2	
福島県選抜	18 [7-11 / 11-6] 17	21 [8-4 / 13-15] 19	2	0	0	4		1	
さいたま選抜	11 [4-12 / 7-9] 21	19 [4-8 / 15-13] 21	0	0	2	0		3	
eリーグ									
埼玉県選抜	秋田県選抜	岐阜県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
埼玉県選抜	36 [20-7 / 16-10] 17	20 [9-11 / 11-7] 18	2	0	0	4		1	
秋田県選抜	17 [7-20 / 10-16] 36	27 [9-20 / 18-20] 40	0	0	2	0		3	
岐阜県選抜	18 [11-9 / 7-11] 20	40 [20-9 / 20-18] 27	1	0	1	2		2	
fリーグ									
北海道選抜	岡山県選抜	佐賀県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
北海道選抜	9 [4-10 / 5-9] 19	13 [7-12 / 6-15] 27	0	0	2	0		3	
岡山県選抜	19 [10-4 / 9-5] 9	22 [13-16 / 9-11] 27	1	0	1	2		2	
佐賀県選抜	27 [12-7 / 15-6] 13	27 [16-13 / 11-9] 22	2	0	0	4		1	
gリーグ									
愛知県選抜	長崎県選抜	茨城県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
愛知県選抜	23 [10-7 / 13-7] 14	25 [12-8 / 13-8] 16	2	0	0	4		1	
長崎県選抜	14 [7-10 / 7-13] 23	21 [12-11 / 9-7] 18	1	0	1	2		2	
茨城県選抜	16 [8-12 / 8-13] 25	18 [11-12 / 7-9] 21	0	0	2	0		3	
hリーグ									
富山県選抜	京都府選抜	愛媛県選抜	○	△	●	勝点	得失点	順位	
富山県選抜	19 [9-13 / 10-13] 26	26 [16-10 / 10-9] 19	1	0	1	2		2	
京都府選抜	26 [13-9 / 13-10] 19	24 [14-7 / 10-10] 17	2	0	0	4		1	
愛媛県選抜	19 [10-16 / 9-10] 26	17 [7-14 / 10-10] 24	0	0	2	0		3	

12月25日(水)		12月26日(木)	
石川県	27	石川県	27
山口県	18	山口県	18
千葉県	31	千葉県	18
福島県	12	福島県	12
埼玉県	24	埼玉県	16
佐賀県	16	佐賀県	16
愛知県	21	愛知県	19
京都府	20	京都府	20
石川県	30	石川県選抜 (初優勝)	30

男子戦評

準決勝

大阪府選抜 26(11-11、15-12)23 愛知県選抜

男子準決勝、愛知県対大阪府の試合は愛知県のスローオフで試合開始。大阪府は和田の得点で先制。その後は一進一退の展開で、竹下、尾上のミドルシュートを中心に得点を重ねる大阪に対し、愛知県は竹内のサイドシュート、白木のシュートなどで得点を重ねた。前半18分には大阪は2分間退場で1人少ない状況になるも、愛知県がこのチャンスを生かすことができず11対11の同点で前半を折り返す。

後半は開始早々愛知県竹内のサイドシュート、白木のミドルシュートなどで3連取。大阪はたまたまタイムアウトをとる。その後も愛知県はディフェンスから速攻によりリズムよく得点を重ねる。対する大阪も竹下のカットイン、ステップシュートなどで愛知県を追いかけ、後半23分に23対23の同点に追いつく。その後は井上、和田の得点で大阪が突き放した。愛知県は後半終始リードをしていたものの、最後に守りきることができなかった。GKの好セーブと竹下が10得点を挙げる活躍によりこの接戦をものにした大阪が決勝の舞台に立つことになった。

準決勝

福井県選抜 28(14-9、14-14)23 香川県選抜

北信越ブロック1位の福井県と、四国ブロック1位の香川県の一戦。先制したのは福井県。の河原がキレのあるフェイントからカットインでシュートを決める。1点が欲しい香川県は、開始3分に滝がサイドシュートを決め、待望の1点が生まれる。前半5分は、3対1とリードを広げた福井県だったが、香川県の藤川が190センチの長身を生かしたシュートを豪快に決め、試合は一進一退の攻防に。前半15分過ぎまで、激しいシーソーゲームが続いたが、18分には藤川がカットインで得点し、香川県がこの試合で初めてリードをする。前半ラスト5分を過ぎ、リードされていた福井県だったが、GK山崎のファインセーブで勢いに乗ると終了間際には同点に追いつく。しかし、終了直前、速攻を止めようとした河原が2分間の退場となり、同点に追いつきながらも嫌な形で福井県は前半を折り返す。

後半、永森のポストシュートで福井県が先制するも、すぐさま高尾がDFをかわした見事なシュートで反撃する。しかし、流れは福井県。香川県の一瞬の間を見逃さなかった福井県がインターセプトなどでリードを3点に広げた。これ以上リードを広げられたくない香川県はGK武田のファインセーブなどで必死に食らいつく。その後、福井県リードのまま、福井県はDF2枚を高めに置き、香川県は7人攻撃を仕掛け、互いに策を講じたが、素早く正確なパス回しで5点差をつけた福井県が28対23で逃げ切り、決勝へと駒を進めた。一方、平成2年以來となる決勝まであと一歩だった香川県は惜しくもここで姿を消すこととなった。

決勝

大阪府選抜 26(13-9、13-9)18 福井県選抜

男子決勝は、準決勝で最多の優勝回数を誇る愛知県を接戦の末に破った大阪府選抜と、岡山県、香川県といった各ブロックの1位を倒して勝ち上がってきた福井県選抜のカードとなった。福井県のスローオフで始まった運命の一戦。立ち上がり大阪は、和田のミドルシュートで先制。さらに、和田が再びミドル、高橋の速攻で大阪が3対0とリードを広げる。一方、福井はミスが続きなかなか波に乗れない。福井待望の得点は、竹内の速攻から生まれた。前半9分には、高橋が仕掛けた激しいプレスが相手の顔面に入り、2分間の退場。大阪は一人少ない状況となる。守ってリズムを作りたい福井は、11分のタイムアウト後から、香川戦でも採用した4-2DFにシステムチェンジ。その後、永森、長谷川の得点で5対7と2点差まで福井が詰め寄ったところで、前半14分に大阪がタイムアウト。大阪は持ち前の力強いミドルシュートを武器に17分にはこの試合で初めてリードを5点差にする。福井は、GK山崎のセーブから速攻で点を取るなど、離されずに食らいつき、13対9の大阪リードで前半を折り返す。

パワー溢れる大阪の攻撃を食い止めたい福井と、さらに点差を広げ、勝利を手繰り寄せたい大阪の後半は、大阪のスローオフで始まった。開始5分まで点の取り合いだったが、流れを変えたのは大阪のGK大砂。7分から続けざまにビッグセーブ。福井もGK山崎のファインセーブで流れを変えたかったが、7mTを決めきれず、福井らしくないミスも目立ち、試合は大阪のペースに。大阪は、守って点を取るリズムができ、15分には竹下のカットインで、その差を10点に広げた。その後、福井はサイドからの見事なパスで、ポストシュートを永森が決めたり、DFに当たられながらも力強く振りぬき銅島がシュートを決めたりしたが、26対18で試合終了を告げるブザーが鳴り、大阪選手の歓喜の声が会場に響いた。

大阪開催以来の優勝となった大阪は、令和初の大会で栄冠を手にした。

女子戦評

準決勝

埼玉県選抜 23(14-9、9-10)19 愛知県選抜

女子準決勝。地元の声援を背に決勝進出を目指す関東ブロック1位の埼玉県と、同じく東海ブロック1位の愛知県との一戦。開始早々、愛知県の安達がカットインシュートで先制すると、埼玉県も佐山のカットインですぐさま取り返す。その後、点が動かない時間が続いたが、埼玉県が佐山、高橋、松原らの得点で5対3とリードし、前半10分を折り返す。一方、愛知県は山口のロングシュートを中心に得点を奪う。愛知県のシュートを止めたい埼玉県は、前半15分に櫻井をDFに投入。18分にはGK田中のファインセーブもあり、流れにのった埼玉県は、この試合で初めて愛知県に4点差をつけた。タイムアウトを取り、流れを変えたい愛知県だったが、ミスから速攻を決められ、14対9と埼玉県リードで前半を終える。

後半も流れは埼玉県。小山、佐山で得点を奪うと、さらにセンター松原、ポスト高橋のホットラインで追加点をあげる。後半13分には佐山のロングシュートが決まり、その差は10点差に広がった。追い上げたい愛知県は、相手の2分間退場もあり、ラスト5分で5点差までつめる。しかし、あと一歩及ばず、23対19で逃げ切った埼玉県は、平成20年以来、11年ぶりとなる決勝進出を決めた。

準決勝

石川県選抜 27(15-8、12-10)18 千葉県選抜

女子準決勝、石川県選抜対千葉県選抜の試合は千葉県選抜スローオフで試合開始。千葉県は小川の7mTで得点し先制。その後石川県は紺谷のロング、ミドルシュートを中心に得点を重ね、開始10分で6対2まで差を広げた。たまたま千葉県はタイムアウトを請求。タイムアウト後、石川県の退場で1人少ない状況を有利に進めた千葉県が6対8と2点差まで追いつく。しかしながら、石川県の6連続得点で差を広げられてしまい、15対8で前半を折り返した。

後半は開始早々石川県の紺谷に対してマンツーマンディフェンスを千葉県が仕掛けるも、石川県は奥村のカットインなどで得点を重ねていった。対する千葉県も7人攻撃や弥吉、上岡のカットインで対抗し、5連続得点を挙げるなど終盤追い上げを見せるも、石川県の高い得点力を守りきることができなかった。石川県は紺谷が10得点を挙げる大活躍をみせ、27対18で勝利し、決勝の舞台に駒を進めた。

決勝

石川県選抜 30(19-5、11-11)16 埼玉県選抜

全国の頂点を決める決勝戦は、ともに初優勝をかけた石川県選抜対埼玉県選抜の試合となり、埼玉県のスローオフで始まる。先制点は石川県中川のシュート。その後も紺谷のミドル、ロングシュート、6番辻のカットインを中心に得点し前半10分で6対0と差を広げ、埼玉県はたまたまタイムアウト。埼玉県は前半13分に佐山が待望のチーム初得点を挙げて流れに乗りたいたところだが、石川県の高いディフェンスを崩すことができず、速攻を中心に差を広げられてしまい、19対5で前半を折り返す。

後半は石川県に立て続けに退場者が出てしまい、このチャンスを埼玉県は松原のカットインや小山の速攻などで得点を重ねていく。しかしながら、前半の点差が響き、差を縮めるまでには至らなかった。結果30対16で石川県が勝利した。

地元の大声援を背に初優勝を飾りたかった埼玉県であったが、あと一歩及ばなかった。対する石川県は堅いディフェンスと高い得点力を生かして、この大会初優勝という栄冠を手に入れた。

なんだか、家族が楽しい、1日です。



次はいつ行く?
ゆめタウン

知らなかった「かわいい」や「おいしい」に出会える1日。家族ってまるで探検隊だ。

株式会社イズミ 検索 <https://www.izumi.co.jp>
 本社 〒732-8555 広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211 (代)

「IHFコーチ シンポジウム 2019」開催報告

国際委員会 山田 永子



2019年11月30日(土)から12月2日(月)にかけて、国際ハンドボール連盟(主催)と日本ハンドボール協会(主管)が協力し、宇城市松橋総合体育文化センター(ウイングまつばせ)においてIHFコーチシンポジウム2019を開催しました。国内外から122名の方々に参加していただきました。

今回は「女子の強化システムと育成年代別コーチング」、「アジアにおける女子の競技力強化」、「日本の学校体育におけるハンドボール」という3つをテーマとしました。「女子の強化システムと育成年代別コーチング」に関しては、Paul Landuré氏から1970年代から戦略的に強化を進め、高い国際競技力を維持し続けているフランスの事例を、Henny Nijboer氏およびGino Smit氏から2000年から強化プランを開始させ、2019年世界選手権で優勝するなど、国際舞台における活躍が目覚ましいオランダの事例をそれぞれ紹介していただきました。また、女子ハンドボール界のトップ指導者としてデンマーク人のMorten Soubak氏から、ブラジルとアンゴラで実際に行ったコーチングそして彼のコーチング哲学を紹介していただきました。

「アジアにおける女子の競技力強化」に関しては、Dietrich Späte氏から、長年に渡る世界大会の分析を通して、男女のハンドボールの発展傾向について、そしてアジアの位置づけや課題をお話しいただきました。また、小笠原一生氏から女子スポーツ界の大きな課題である障害予防についてお話しいただきました。実技では、オリンピックメダリストであり現在は韓国女子代表ユース監督のOh Seong Ok氏から韓国式フェイントを、元日本女子代表監督栗山雅倫氏から日本のオープンディフェンスを、元日本男子代表コーチネメシュ・ローランド氏から効果的な攻撃を紹介していただきました。

「日本の学校体育におけるハンドボール」に関しては、佐藤靖氏に学校体育の歴史的変遷について、山本繁氏および山下純平氏から学校体育の実践報告をしていただきました。

またこのシンポジウムは、日本スポーツ協会公認指導者資格更新の義務研修を兼ねて開催しました。

3日間のシンポジウムでは、様々な経験を積まれている講師の方々から国際競技力の向上およびハンドボール普及のためのアドバイスを非常にたくさんいただきました。閉会式には、国際ハンドボール連盟会長Hassan Moustafa氏が、シンポジウムの開催に対して、そして参加者の方々に感謝の意を伝えるとともに、ハンドボールの国際的な発展のためには、情熱をもって学び続ける指導者が増えることが最も大切であると指導者の方々にエールを送っていただきました。

おわりに、コーチシンポジウム2019の開催にご協力、ご尽力いただきました関係各位に心から感謝申し上げます、報告といたします。

2019年度NTSセンタートレーニング報告

NTS 委員長 古橋 幹夫

1 開催日時

U-16：1月4日～1月6日

U-13：1月11日～1月13日

2 会場

男子：大同特殊鋼体育館

女子：大同大学体育館

3 参加者

- ・NTS スタッフ（技術指導、運営、審判、トレーナー、情報分析他）
- ・学生サポートスタッフ（大同大学女子ハンドボール部）
- ・講師等
- ・選手 U-16 男子 34 名、U-16 女子 40 名、U-13 男子 32 名、U-13 女子 33 名 選手合計 139 名

4 NTS の変遷

NTS は、日本スポーツ振興センター（JSC）のスポーツくじ（toto・BIG）の収益金による助成金を中心に実施しています。2000 年から始まったこの事業も今年度で 20 年目を迎えました。

この事業は、歴代の担当者の努力によって、事業の目的である

【選手の発掘育成 一貫指導の伝達 指導者育成 情報提供】

において、各委員会が横断的に係ったり、多くの指導者が関わることによって細かい指導を提供できるなど、より実効性のあるものへと少しずつ変貌を遂げ、U-16（中2～高1）、U-13（小6・中1）のカテゴリー別となって3年目の開催となりました。また、昨年度から『未来の君たちへ』と題したオフィシャルトレーニングテキスト（ホームページ参照）を運営委員会が中心となり作成し、トレーニングや研修、振り返りに使用しています。

5 活動内容

2019 年度の NTS センタートレーニングは、各ブロックから選ばれた選手・推薦された指導者と NTS スタッフによって、U-16・U-13 とも 2 泊 3 日のスケジュールで、開催いたしました。

トレーニングプログラムについては、ハンドボールの技能の習得にとどまらず、「ファンダメンタルスキル」やハンドボールに適した効果的な動きの習得のためにトレーナー部会で考案された「ベーシックセブン」と「ベーシックセブンプラス（ストップ動作）」をトレーナーの方の指導の下、実施しました。

また、ゲームでは国際審判員の方を招き、審判の視点も取り入れて指導を受けました。

【ハンドボールスキルトレーニング】

現日本代表やアンダーカテゴリーで課題となっている技術の基礎・基本の習得、技術の伝達、指導者の資質向上を図るため、指導内容策定委員会でそれぞれのカテゴリー別に内容を模索し、次のように策定しました。

U-16

〈DF スキルトレーニング〉

利き腕側を守ることを意識しながら攻撃を予測し、先手を取る駆け引きをしながらアグレッシブなディフェンスをねらいとしてトレーニングの実践を行いました。

- ① オフェンスとの間合いと利き腕側を守る 1対1
- ② 縦の2対2で牽制やハードコンタクトのトレーニングをし、3対3に発展
- ③ 中央4対4からサイドの切りでオフェンス有利な状況を牽制、連動、駆け引きを使い守る

〈OF スキルトレーニング〉

ディフェンスの動きに応じた状況判断ができるようにオフザボールの動きに重点を置き、数的有利な状況の発見や発掘ができることをねらいとしてトレーニングの実践を行いました。また、ロジカルシンキング能力の獲得を目指し、選手間でのアイデア共有ができる状況を作ることも実践しました。

- ① 3対3のタッチハンドボールでオフザボールの動きの連動
- ② 3人のパスでパス後のダッシュを意識し、素早い移動とポジショニング
- ③ 数的有利な4対3で状況判断とアイデアの出し合い
- ④ 数的有利な6対5で状況判断とアイデアの出し合い
- ⑤ アグレッシブなディフェンスに対する6対5で緩急やブロックプレーなど、質の高いオフェンスの連動と継続

〈GK スキルトレーニング〉

ダイナミックなセービングを目指し、ディフェンスとの連動や指示、チアアップなども含めてセーブ率を上げることをねらいとしてトレーニングの実践を行いました。

- ① ウィングシュートに対するポジショニングとセービング
- ② ピヴォットシュートに対するポジショニングとダイナミックなセービング
- ③ バックシュートに対する観察とセービング
- ④ ディフェンスとの連携

U-13

〈DF スキルトレーニング〉

コンタクトを最重点課題として、その技術やフットワークの習得をねらいとしてトレーニングを行い、状況の変化に対応できる連続したディフェンス動作の出力と精度アップを目指しました。

- ① 5対5のタッチハンド
- ② コンタクトのファンダメンタルドリル
- ③ ピボットを押し上げてからの1対2 (2種類)
- ④ 中央にコーンを置いた4対3でコンタクトやパスカットを狙う

〈OF スキルトレーニング〉

状況に応じた適切なパスキャッチスキルの向上と大きな動きのスローイングの動作を身につけ、数的有利な状況の発見や意図的に攻撃パターンを作り出すことをねらいとしてトレーニングの実践を行いました。

- ① 距離に応じたパス
- ② 片手キャッチと動きながらのパス
- ③ シュートにつながる大きなモーションでのパス
- ④ ピボットを使った2対2、3対3
- ⑤ 数的有利の発見、構築を目指したハーフ速攻2対2、3対3

〈GK スキルトレーニング〉

ダイナミックなセービングを目指し、ディフェンスとの連動を意識し、セーブ率を上げることをねらいとしてトレーニングの実践を行いました。

- ① ウィングシュートに対するポジショニングとセービング
- ② ピヴォットシュートに対するポジショニングとダイナミックなセービング
- ③ バックシュートに対する観察とセービング
- ④ ディフェンスとの連携

濱野健一さん、前田誠一さん、伊藤貴寛さん、北野香代さんを中心に、インストラクターとして各ブロックから推薦された指導者の方々のご協力をいただき、熱心な指導の下、充実したトレーニングを行うことができました。

各ブロック推薦指導者（敬称略）

- ・北海道 U-16 藤井浩史、U-13 高橋英明、高橋伸幸
- ・東北 U-13 八島広至、今野大樹
- ・関東 U-16 小松理子、U-13 津金泰輝さん、山口悠歩さん
- ・北信越 U-16 藤中 修、山本臣也、越前信明、U-13 川田貴史、藤中 修、朝倉由貴
- ・東海 U-16 福田 瞬、柏木貴恵、U-13 森本健哉、中村俊輔、吉原 恒
- ・近畿 U-16 児玉祐輝、U-13 石田真由美、乙村直人
- ・中国 U-16 竹本秀樹、高山智恵、U-13 益田 淳、楠原誠吾
- ・四国 U-16 月原一成、大崎祥弘、U-13 樋野 崇、筒井祝子、松岡友子
- ・九州 U-16 上田芳久、濱田剛光、池田ゆう子、U-13 木村綾児、幡東忠則

トレーナー部会から派遣されたトレーナーの指導でベーシックセブンやベーシックセブンプラス、ウォーミングアップ、クールダウンを行うことができました。

- ・トレーナー部会 柴田智仁さん、竹内いずみさん
- ・リズムトレーニング 藤中 修さん（女子のみ）

最終日のゲームでは、審判委員会から国際審判員を派遣いただきました。

- ・国際審判員：本田昭太さん（U-16）、臼井 健さん（U-16）、島尻真理子さん（U-13）

審判員のジャッジを行う基準を学び、実際にゲームのジャッジをしていただくとともに、国際レベルのゲームを踏まえて審判の目から見たアドバイスをいただき、選手にとって良い刺激となりました。

【知識：知的スキルによってハンドボールに対する取り組みやアスリートとしてどうあるべきかを考えさせる】

〈アスリートセミナー〉

銘苅 淳氏による「アスリートライフスキル」の講義とワーク

- ・選手の人格形成とメンタル強化を学びました。

貝沼圭吾氏による「アンチドーピング研修」の講義

- ・アンチドーピングの重要性と基本を学びました。

永澤貴昭氏による栄養セミナー

- ・アスリートとしての食育を学びました。
- ・見学の保護者や指導者にも講習をしていただきました。

尾石智洋氏による NTA（ナショナルトレーニングアカデミー）の説明

- ・今後の目指す目標について学びました。

6 日程について

今回のセンタートレーニングは、U-16、U-13 のカテゴリーを 1 週間あけて実施するスケジュールでした。年々、発掘育成運営委員会が充実し、事務処理や選手の誘導が大変スムーズに行われました。

昨今、日本のハンドボールに係る行事等が錯綜している中、スケジュール調整等では毎年頭の痛い問題となっています。ましてや小・中・高校生の選手が集まる形になり、大会を控えているチームが多い中、チームスタッフの方のご好意、ご協力の下、開催できている現状です。特に中学生は、U-16 と U-13 の両方が対象になっているので大会日程等を考慮して設定していきたいと思えます。

7 今後の NTS

一昨年度から U-16、U-13 というカテゴリー別のセンタートレーニングになりましたが、使用するボールサイズや松ヤニの使用についてなど、いろいろな課題が浮かび上がっています。また、発掘された選手に 3 日間で何を伝えるかにも課題があります。それらの課題を一つひとつ解決し、世界基準の選手を発掘・育成し、2024 年・2028 年につなげられるよう努力していきたいと思えます。また選手の発掘育成と同等に指導者の育成も重要課題であると思えます。

2019年度NTSセンタートレーニング報告

今後も NTS は、日々変化していく世界のハンドボールスキルや戦術のトレンドをいち早くキャッチし、情報提供をしていきます。併せて、ハンドボールの日本スタイルとして忘れてはいけない普遍的なものを提供できるように、NTS 関連の委員全員で力を合わせていきたいと考えます。

最後に、センタートレーニングの実施にあたり、快く会場を提供して下さった大同特殊鋼・大同大学の関係者の方々に感謝申し上げます。また、各ブロックでのトレーニングにご尽力いただいた運営・技術指導スタッフの皆さん、並びに選手・指導者を派遣して下さった所属チームの関係者の皆さん、NTS の運営に関わっていただいた方々に感謝の意を表します。



藤中氏のリズムトレーニング



永澤氏による栄養セミナー



銘苅氏によるライフスキル講習



認定証授与



貝沼氏によるアンチドーピング研修



国際審判員の講義



U-16 男子集合写真



U-13 男子集合写真



U-16 女子集合写真



U-13 女子集合写真

2019 NTS センタートレーニング参加者名簿

【U-16 男子名簿】

No.	都道府県名	選手名	ポジション	学年	学校・チーム名
1	北海道	佐藤 秀亮	RB;RW	高1	函館大学付属有斗高等学校
2	北海道	齋藤 琉	RB	中3	札幌市立東月寒中学校
3	宮城県	山口 真登	LB;CB	中3	富谷市立成田中学校
4	群馬県	中田 翔渉	LB;CB	中3	富岡市立南中学校
5	埼玉県	安藤広大	LW;LB	高1	浦和美業学園高等学校
6	埼玉県	狩野拓己	LB	高1	浦和美業学園高等学校
7	埼玉県	月岡 笑一	PV	高1	浦和美業学園高等学校
8	埼玉県	青山知睦	LW;PV	中3	大崎ジュニア
9	埼玉県	井上 巧登	CB	中3	三郷市立北中学校
10	富山県	池上 将生	PV	高1	高岡向陵高等学校
11	富山県	中沖 仁希太	LB;PV	中3	富山市立呉羽中学校
12	富山県	宮 健心	GK	中3	氷見市立北部中学校
13	富山県	向谷内 海都	PV	中3	氷見市立北部中学校
14	福井県	長谷川 悠唯	RW	中3	福井市立明倫中学校
15	長野県	緑川 智也	LB;CB;RB	中3	千曲市立戸倉上山田中学校
16	岐阜県	窪田 匠真	RB;RW	高1	岐阜東高等学校
17	愛知県	岡田 広規	LB;PV	高1	大同大学大同高等学校
18	愛知県	赤澤 磨於	LB;CB	中3	一宮市立北部中学校
19	愛知県	宮田 怜	GK	中3	名古屋市立扇台中学校
20	三重県	林田 崇希	LB;CB;RB	中3	四日市市立朝明中学校
21	京都府	米田 昇平	GK	中3	京田辺市立田辺中学校
22	大阪府	伊藤 太一	LB	高1	桃山学院高等学校
23	大阪府	田中 星矢	GK	高1	関西大学北陽高等学校
24	大阪府	高橋 素晴	LB;CB	中3	大阪市立住吉第一中学校
25	大阪府	福原 翔真	RB;RW	中3	大阪 RSC
26	山口県	姉ヶ山 怜	LB	高1	県立徳山商工高等学校
27	山口県	西田 悠	LB	中3	周南市立住吉中学校
28	高知県	依光 玲有	RB	高1	高知南高校
29	香川県	藤川 淳	LB;CB;RB	中3	龍雲中学校
30	福岡県	佐藤 圭	LB;CB;RB	中3	粕谷町立粕屋中学校
31	福岡県	原田 浩天	PV	中3	福岡市立吉塚中学校
32	熊本県	岩崎 優真	LB	中3	宇城市立松橋中学校
33	沖縄県	与座 晃盛	GK	高1	興南高等学校
34	沖縄県	照屋 拓実	LW	高1	興南高等学校

【U-16 女子名簿】

No.	都道府県名	選手名	ポジション	学年	学校・チーム名
1	北海道	山野 紗由	LB	高1	メーヴェン釧路
2	北海道	佐々木 弥羽	LB	中3	函館市立本通中学校
3	宮城県	尾崎 ひかり	LB	中3	富谷市立成田中学校
4	栃木県	小林 礼実	GK	中3	栃木市立東陽中学校
5	群馬県	高麗 姫禾	LB;CB	中3	甘楽町立甘楽中学校
6	埼玉県	木村遥和	LW;RW;RB	高1	埼玉栄高等学校
7	埼玉県	山崎真優	LB;PV	高1	浦和美業学園高等学校
8	埼玉県	青野奈央	LW;LB	中3	三郷市立北中学校
9	埼玉県	櫻井ありさ	LB;PV	中3	三郷市立北中学校
10	千葉県	入井優希奈	LB	高1	東邦大学付属東邦高校
11	東京都	松本 咲葵	LB;CB	中3	東久留米市立西中学校
12	富山県	坂下 碧	CB	高1	高岡向陵高等学校
13	富山県	室田 千夏	LB;CB	中3	氷見市立西條中学校
14	石川県	加藤 優奈	LW;LB	中3	小松市立南海中学校
15	石川県	奥村 由紗	CB	中3	小松市立芦城中学校
16	福井県	仲野 莉生	LB	中3	福井市立明倫中学校
17	福井県	山崎 楓名	GK	中2	福井市立明倫中学校
18	長野県	六川 歩美	LB;CB	中3	屋代高等学校附属中学校
19	岐阜県	荒町 優実	LB	中3	高山市立中山中学校
20	愛知県	奥山 寧々	GK	高1	名古屋経済大学市邨高等学校
21	愛知県	山口 杜子	LB;CB	中3	名古屋立瀬ノ水中学校
22	三重県	前岨 実里	LW;LB	高1	県立四日市商業高等学校
23	三重県	上村 花瑠	LB;CB;RB;PV	中2	四日市市立朝明中学校
24	滋賀県	曾田 里音	GK	高1	立命館守山高等学校
25	京都府	大橋 なつみ	LB;RB	高1	府立洛北高等学校
26	京都府	田中 ゆら	RB	中3	京田辺市立田辺中学校
27	兵庫県	小寺 陽菜乃	GK	中2	明石市立望海中学校
28	岡山県	永田 一華	RB	高1	県立倉敷天城高等学校
29	山口県	吉村 七海	LB;CB	中3	下松市立下松中学校
30	高知県	岸野 美空	LB	高1	高知県立高知東高等学校
31	愛媛県	藤由 美織	LB;RB	中3	愛媛県立勝山中学校
32	福岡県	渡邊 エレン	GK	中3	福岡市立吉塚中学校
33	長崎県	埜川 亜利紗	GK	高1	環浦高等学校
34	長崎県	榎本 摩耶	LB	中2	佐世保市立大野中学校
35	熊本県	田子山 柚咲	LB;PV	中3	熊本市立帯山中学校
36	沖縄県	金城 望子	LB;CB	高1	県立那覇西高等学校
37	東京都	水谷 美海	PV	中3	J-star
38	愛知県	井上 あすか	LB;CB;PV	中3	J-star
39	和歌山県	橋本 真緒	LB	中3	J-star
40	宮崎県	桑山 日和	LB;CB	中2	J-star

【U-13 男子名簿】

No.	都道府県名	選手名	ポジション	学年	学校・チーム名
1	北海道	磯見 太心	LB	小6	モーション函館 HC
2	岩手県	小椋 優毅	GK	中1	矢巾町立矢巾北中学校
3	秋田県	高橋 唯人	GK	小6	羽後町弘ノポール少
4	山形県	齋藤 来也	CB	中1	尾花沢市立尾花沢中学校
5	山形県	井上 蒼天	LB	小6	尾花沢弘ノポール少
6	福島県	山崎 翔	RB	中1	川俣町立川俣中学校
7	群馬県	南城魁星	LW;RW;LB;CB;RB;PV	中1	富岡市立富岡南中学校
8	埼玉県	小林 諒太郎	LB;CB	中1	大宮開成中学校
9	神奈川県	小路 風太	LB;CB	小6	生田 HC ボンバーズ
10	富山県	紅出 和之助	GK	中1	氷見市立北部中学校
11	富山県	大森 柁弥	GK	小6	窪スポーツ少年団ハンドボール部
12	山梨県	依田 一星	LB;CB;RB	中1	甲府市立城南中学校
13	岐阜県	廣瀬 樹弥	LB	中1	クラウド7
14	岐阜県	外村 都葵	LB	中1	大垣市立星和中中学校
15	愛知県	日置 大雅	LW;LB	小6	知立市ハンドボール教室
16	三重県	宮田 陸功	RB;PV	中1	四日市市立朝明中学校
17	三重県	稲垣 滉兼	LB;CB;RB	小6	ヴィアティン三重ハンドボールクラブ
18	京都府	北川 魁	RB	中1	京田辺市立田辺中学校
19	京都府	東出 隼輝	PV	中1	京都市立四条中学校
20	京都府	井上 翔太	RB	小6	草内小学校 HBC
21	京都府	桑原 健太	LB	小6	松井ヶ丘小学校ハンドボールクラブ
22	大阪府	大熊 良輔	LB;PV	中1	大阪体育大学浪商中学校
23	兵庫県	中野 純志	GK	中1	明石市立魚住東中学校
24	岡山県	高田 晴生	LB;CB;RB	中1	倉敷市立琴浦中学校
25	岡山県	赤堀 星斗	LB;CB	小6	総社クラブジュニア
26	徳島県	篠原 奏斗	PV	中1	徳島市城東中学校
27	高知県	池田 彩人	LB;PV	小6	高知 JHC
28	福岡県	松隈 祐樹	GK	中1	HC 春吉 Jr.
29	大分県	多田 碧飛	PV;GK	小6	下郡スボ少
30	鹿児島県	篠原 和弘	LB;CB;RB	小6	霧島ジュニア
31	沖縄県	石原 直弥	RB;RW	中1	浦添市立浦添中学校
32	沖縄県	松堂 航也	LB;CB;RB	小6	美東小 (コザクラブ Jr)

【U-13 女子名簿】

No.	都道府県名	選手名	ポジション	学年	学校・チーム名
1	北海道	太田 彩葉	LB;CB;RB	中1	メーヴェン釧路
2	岩手県	中野 暁音	LW;LB;CB;RB;RW;PV	中1	滝沢市立滝沢南中学校
3	岩手県	松岡 莉里	RB	小6	ヴォルベ滝沢
4	宮城県	加藤 真央	LB;PV	中1	大崎市立田尻中学校
5	宮城県	馬場 紅杏	RB;CB	中1	大崎市立古川中学校
6	山形県	原田 玲菜	LB;CB	小6	H C 山形
7	茨城県	関口華恋	GK	中1	行方市立麻生中学校
8	千葉県	中村 真心	CB	中1	昭学院中学校
9	東京都	木尾 珠里奈	LW;RW;LB;CB;RB	中1	東久留米市立西中学校
10	東京都	佐茂 春陽	CB	中1	東久留米市立西中学校
11	東京都	松本 優萌	RW;LB;CB	中1	東久留米市立西中学校
12	東京都	普久原 朱怜	CB	小6	小金井ハンドボールクラブ
13	富山県	前 葉月	LB	小6	十三ジュニアハンドボールクラブ
14	福井県	北 和香奈	LW;CB;RW	中1	福井市立明倫中学校
15	愛知県	島戸 那渚	CB;RB	中1	名古屋市立扇台中学校
16	愛知県	勅使瓦 はな	LW;LB	中1	名古屋市立平針中学校
17	三重県	田邊 舞	LW;LB;CB	中1	四日市市立朝明中学校
18	三重県	高原 みなみ	LB;CB;RB;PV	小6	ヴィアティン三重ハンドボールクラブ
19	三重県	坂 知優	LB;CB;PV	小6	ヴィアティン三重ハンドボールクラブ
20	京都府	本田 心那	LB	中1	京田辺市立大住中学校
21	京都府	辻 知里	RB	小6	薪 HBC
22	京都府	今村 帆乃	GK	小6	草内小学校 HBC
23	大阪府	下田橙和	CB	中1	大阪ジュニアクラブ
24	兵庫県	有田 楓夏	LB;CB	中1	明石市立望海中学校
25	鳥取県	山口 涼乃	LB;CB	小6	境港マリナーズ
26	山口県	山下 若菜	LB	中1	岩国市立平田中学校
27	香川県	松浦沙奈	LB;PV	中1	高松市立香東中学校
28	香川県	村上音彩	LB, RB	小6	CERASUS 長尾
29	熊本県	西村 夢華	LB	小6	HC 宇土
30	大分県	友 春乃	LB;CB	中1	大分市立原川中学校
31	宮崎県	藤崎 ほのか	GK	小6	延岡東ハンドボールクラブ
32	沖縄県	野底 桃伽	LB;CB	中1	浦添市立仲西中学校
33	沖縄県	我那覇 凜子	LB;RB	小6	内間小 (リトルS uns)

2019 女子世界選手権大会レポート

おりひめジャパン 情報分析 嘉数 陽介

I. はじめに

昨年12月に熊本にておこなわれました女子世界選手権にて、関係者全ての皆様の多大なるご支援により、おりひめジャパンは24チーム中10位という結果をおさめました。これまでの歴史の中で最高成績となった今大会について、具体的にどのような成果があったのか、公式スタッツ等を参考にしながら、以下にレポートとして具体的な数値で振り返りたいと思います。

II. 定量分析レポート

①攻撃について (表1, 2 参照)

前回と攻撃回数はほぼ同じ56.6回であった。そのうちミスが1試合平均12.8本(22.5%)と、前回に比べて大幅に減少し、シュート数は増えている。そのため、前回に比べてシュート成功率は低下している(61.9%)ものの、全体の攻撃成功率は前回より高くなっており、50%を上回った(51%)。1試合の平均得点は28.8点と、過去大会の中でも稀に見る得点力であると言える。なかでも最も得点の多かったシュートポジションは前回と同様Wingであり、シュート成功率は左右合わせて60%に上る。さらに、今大会特筆すべき点はディスタンスシュート(9m Shots)である。そのシュート数はWing・6m Shotsと並んで大きく割合を占めているが、今大会はその成功率が46%と高い値を示し、今大会の上位国にも劣らない成功率であった。

表1. 全体のスタッツ

	2019世界選手権		2017世界選手権	
	日本	対戦相手	日本	対戦相手
攻撃回数	56.6回	56.6回	56.7回	56.7回
シュート数	46.4本	44.9本	41.5本	46本
得点	28.8点	25.5点	26.3点	26点
ミス数	12.8本	14.9本	17.7本	14本
フリースロー獲得数	17.3本		12本	
GKセーブ率	29%	26%	31%	27%
攻撃成功率	51.0%	45.1%	46.5%	45.7%
シュート成功率	61.9%	56.8%	63.3%	56.2%
シュート達成率	77.5%	79.3%	73.4%	81.2%
ミス率	22.5%	26.3%	31.0%	24.7%

表2. 日本チームによる各シュートのスタッツ

Team Shots	Goals	Saves	Missed	Post	Blocked	Total	%
6m Shots	54	20	4	4	2	84	64
Wing Shots	53	23	5	8		89	60
9m Shots	38	16		4	15	82	46
7m Shots	35	12	2		N/A	49	71
Fast Breaks	24	8	1	4		37	65
Breakthroughs	18	2	2			22	82
Totals	230	81	23	20	17	371	62

②守備について (表1, グラフ1 参照)

大会を通して平均失点は25.5点であり、前回よりもわずかに失点は減少した。これまでディフェンス強化の柱としても掲げていたフリースロー(罰則なし)の獲得数は、前大会に比べて大幅に増えており、フィジカル面での努力の成果は、当たり負けしない守備において数値として表れている。またGK阻止率は29%で今大会も30%前後のパフォーマンスをキープした。



III. さいごに

今大会全体の公式データから、10位という最終結果だけでなく、ゲームパフォーマンスにおけるポジティブな数値の向上が各局面で見られました。これは、東京オリンピックを戦う上で大きな可能性・自信に繋がるものであったと確信します。しかしながら、オリンピックに出場する国々のレベルは更に高く、ここからは精神的にも非常にタフにならなければなりません。選手の全てを賭けた挑戦が最後に実を結ぶよう、我々もサポートしていきたいと思います。今大会を支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。今後も変わらぬご支援・ご声援を承りますよう宜しくお願い申し上げます。

『JAPAN CUP 2019 渋谷 WOMEN』

ボランティアレポート

競技ボランティア 大久保 和彦

2019年11月に東京渋谷の国立代々木競技場にて開催されました『JAPAN CUP 2019 渋谷 WOMEN』において、競技ボランティアとして参加する機会に恵まれました。ボランティア活動を通して、様々な経験をさせていただきましたので、その様子をハンドボールに関わる皆様にお伝えいたしたく、本稿を寄稿させていただきます。

『JAPAN CUP 2019 渋谷 WOMEN』は、熊本にて開催される2019世界女子ハンドボール選手権の代表チーム同士の前哨戦として、また、東京2020オリンピック競技大会のテストイベントとして、日本ハンドボール協会主催にて開催されました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の大会ボランティアに応募をしている人を対象に、今大会のボランティアスタッフの募集がおこなわれ、私も含め、大会期間中に活動できるメンバーがボランティアとして参加いたしました。

ボランティア活動は練習日を含む全4日間に渡っておこなわれ、東京2020組織委員会スタッフの方々とともにチームを形成し、競技運営のサポート、会場内の案内・誘導、アスリートサポート等をおこないました。

私は、フィールド・オブ・プレイ (FOP) という、競技運営においてフィールド内に関連するすべての領域をカバーするチームに所属いたしました。このチームを指揮する組織委員会の方々には国際大会の参加・運営経験が豊富なオリンピックを中心とした外国人の方が多く、英語を公用語として運営されました。時にはボディランゲージを駆使しての英語でのハンドボール競技サポートは、とても得難い経験となりました。ハンドボールでよく使われる「松ヤニ」を英語では「resin」と言うのを初めて知る機会となりました。

FOPチームでは、試合前やハーフタイムにおけるコートやベンチの整備、試合に利用するボールの空気圧調整や松ヤニの準備、また、試合中とウォームアップ時にはコートサイドに位置し、コート外に飛び出してくるボールを拾い円滑にゲームを運営する等のサポートをいたしました。コートサイドには各国の代表選手が放つものすごく速いシュートのリバウンドボールが飛んでくることもありましたが、学生時代から続けているハンドボールの競技経験が役に立ったと思います。

また、試合前の選手入場・国歌斉唱時の旗手も担当いたしました。チームに配属が決まった際にはコートサイドでのボール拾い等の業務は想像しておりましたが、旗手を担当することになるとは予想だにしておらず、最初のミーティングにて旗手を務めることを伝えられた際にはとても驚きました。周りのメンバーも皆、一様に驚いていたように記憶しております。

国際大会においてはボランティアが旗手を務めることはよくあることのように、組織委員会の方からの指導はとても丁寧で的確でした。大会前日の短い時間で、入場から退場までの作法を丁寧に指導いただきました。セレモニーでは、2人の旗手が一步一步息を合わせて入場から退場まで揃って動作します。国歌斉唱中に国旗を掲げることは、選手や会場のみなさんの気持ちを一つに受け止める大事な場面で、とても緊張しました。今回FOPチームにボランティアとして参加したメンバーは、全員が旗手を担当しました。

旗手を担当させていただいたことで、日本代表はもちろん、今大会に参加していたフランス・スロベニア・ブラジルの各国代表チームにもとても思い入れができました。熊本の世界選手権ではお気に入りのチームとして応援していました。

今大会のボランティアは4日間と短い活動期間でしたが、とても濃密な時間を過ごすことができました。一緒に活動したメンバーの雰囲気はとても良く大会を楽しめ、充実したボランティア活動となりました。オリンピック本番の役割や活動場所は未定ですが、もし、またハンドボール競技のFOPを担当することとなり、チームの皆様と再会できれば嬉しいなと思っております。また、東京2020大会の大会ボランティアに応募している方、お会いできるのを楽しみにしております。今大会以上の多様なメンバーとともに多くの経験ができると思います。皆さんと一緒に、東京2020大会をサポートしオリンピックを心から楽しみたいと思っております。一緒にハンドボールをオリンピックを盛り上げましょう！

2020 三二情報

「東京2020 みんなのエスコートキッズプロジェクト」東京都募集

東京都は、東京2020大会において選手と手をつないで入場するエスコートキッズ等を、令和2年1月23日より募集を開始しています。但し、ハンドボールは高校生です。

募集期間：令和2年1月23日(木)12時(正午)～2月17日(月)12時(正午)

募集競技：ハンドボール 国立代々木競技場 8月4日～9日 16名

フラッグベアラー (選手入場の際に出場国の国旗を持って入場する役割)

応募要件：平成14年(2002年)4月2日～平成17年(2005年)4月1日(高校1年生～3年生)

都内在住など

詳しくは、以下を参照ください。

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaiyunbi/kanren/KidsSupportersProject/index.html>

令和元年度 第22回ハンドボール研究集会報告

標記研究集会が以下の通り開催されました。ここに、機関誌の誌面をお借りし、報告させていただきます。

学校体育専門委員会 委員 小岩井 浩明

1. 期 間 令和元年 11 月 28 日 (木)、29 日 (金)
2. 主 催 公益財団法人 日本ハンドボール協会
3. 主 管 熊本県ハンドボール協会
4. 後 援 スポーツ庁、熊本県教育委員会、菊池市教育委員会
5. 会 場 菊池市立隈府小学校
6. 実施内容

【11月28日(木)】

開会式 12:30 - 12:50

講 演 12:50 - 13:50



講師 塩見 英樹 国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官

(併) スポーツ庁 政策課 教科調査官

「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の展開

- 「主体的・対話的で深い学び」とはどんな学び？
- なぜ、今、「主体的・対話的で深い学び」なの？
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

研究発表 14:00 - 15:30

1 「ターゲットアタック ～児童がワクワク感をもって参加できる授業作り～」 信原 悦治 (岡山市立七区小学校)

2 「よりよい自分を追い求める体育科学習」 平嶋 秀盛 (熊本大学附属小学校)

3 「仲間とパスをつなぎ、シュートする喜びを実感できる授業を目指して」 二宮 亜哉奈 (大垣市立興文小学校)

4 「シュートゲームは子どもを夢中にさせる」

5 「子どもが考えなくなるゴール型ゲーム ～シュートゲームの実践を通して～」 山下 純平 (愛知教育大学)

橋本 浩司 (名古屋市立神宮寺小学校)

鈴木 竜玄 (名古屋市立相生小学校)

実技研修 15:50 - 17:30

講師 Henny Nijboer オランダハンドボール協会指導委員長



Gino Smit オランダ男子代表チームコーチ

通訳 中山 沙織

「Theme for school teachers: Developing playing skills」

- 数的有利な状況でのゲーム

ハンドボール・バスケットボール・サッカー

交流会 18:45 - 20:45

【11月29日(金)】

授業提案 1 9:00 - 9:45

「3年生 ダブルゴールハンドボール ～みんなでシュート みんなでゲット～」 授業者:木村 綾児 (菊池市立隈府小学校)



- 児童の気づきを引き出す授業
- コーンとバーで作った2つの簡易ゴール
- サイドマンを使った5対5のゲーム

講 義 10:10 - 11:40

講師 Henny Nijboer オランダハンドボール協会指導委員長

Gino Smit オランダ男子代表チームコーチ

通訳 中山 沙織

「Theme for school teachers: Developing playing skills」

- 児童にどのような姿勢で取り組ませるか
- ・行うことを知る (とにかく楽しく積極的に)
- ・仲間とどう関わるか (技術・戦術以外の面も含めた人間性の高まり)
- ・相手プレイヤーへの思いやり (学校体育は勝つことが最終目標でない)
- ・審判としてどうあるべきか (自分たちで解決)

- 技術よりも成功体験を

閉会式 12:00 - 12:30

おわりに

新学習指導要領の内容が施行されます。塩見調査官から「ハンドボールの可能性を」というお言葉がありました。2日間の研修で、十分にハンドボールの魅力と可能性を感じることができたと思います。これからも本研究集会からハンドボールの素晴らしさが発信されることを期待します。

最後に本研究集会を開催するにあたり、お忙しい中、ご尽力していただいた熊本県ハンドボール協会の皆様、また関係者の方々に感謝を申し上げつつ、ご報告とさせていただきます。